



事業は土日祝日開催が多いのですが、年間計画に沿って休みの計画は立てやすく、ライブ遠征や旅行もよく行きます。

田坂 美夢
令和5年度採用 事業推進グループ配属
芸術学部 芸術学科 卒業

志望動機や入職の決め手を教えてください。

ピアノや吹奏楽の経験から音楽関連の仕事を希望していたのですが、大学で美術分野も学ぶ機会を得て、広く芸術について考えるようになりました。この財団は舞台も展覧会もユニークで、幅広いジャンルの芸術を届けられる点に魅力を感じました。また、若手音楽家支援事業を知り「アーティストが成長・活躍し、市民と交流できる場を提供したい」と思い、受験を決めました。

どんな仕事をしていますか？休日はどう過ごしていますか？

主にアウトリーチ事業担当で、アーティストに同行して小学校・保育園、老人会等に演奏会など生の芸術を届けます。会場下見や主催者との打合せ、本番の設営やスライド操作もします。ほかにも舞台事業の担当として、公演へ向けた準備や、当日活動するボランティアさんの段取りを組むこともします。休日は買い物や友人と遊びに行くことが多いです。事業は土日祝日開催が多いのですが、年間計画に沿って休みの計画は立てやすく、ライブ遠征や旅行もよく行きます。

とある1日のスケジュール

8:30 始業 決裁・メールチェック
8:40 アウトリーチの現場へ移動、セッティング
10:00 アウトリーチ本番
12:30 事務所に戻り昼休憩（1時間）
13:30 決裁・メールチェック、資料作成、電話応対
16:00 アウトリーチ派遣先との打ち合わせ
17:15 終業 退社

※自主事業公演の直前など繁忙期は残業もします。



印象深かった仕事とやりがいを教えてください。

小学校のアウトリーチで同学年3クラスそれぞれで演奏した際、MCの言葉を少し変えるだけで反応が大きく違い、子どもたちの様子がとても新鮮でした。どうすればよりよい反応を引き出せるかをアーティストと一緒に考え、本番で試すのを繰り返しています。また、「生演奏を届けてくれてありがとう」と声をかけられたり、アンケートで「よかった」「楽しかった」との言葉を見る度に（頑張った良かった。試行錯誤して成果を出せた。）と思えてとても嬉しいです。

入職前後のギャップや自身の変化はありますか？

以前は現場で動くイメージでしたが、想像以上にデスクでの業務があり、今は映し出すスライド一枚にも、より良い本番のため考えて準備できたかを意識しています。自身の変化は、業務を通じて「社会人になった」と感じる瞬間が多いです。契約の締結や、公演日に多くのボランティアさんをまとめることなど、学生の時以上に責任感を意識するようになったと思います。

受験者へ一言お願いします！

私は周りの友人に比べ就職活動が長引いたほうなのですが、「芸術に携わりたい」という思いが強く、諦めずに頑張った結果、ずっと憧れていた環境で働くことができています。内定がもらえない中で不安になるたびに「自分は何が好きなのか」「どういうことがやりたいのか」「何をしている瞬間の自分が好きか」ということを周りの人にひたすら聞いてもらい、自分の考えを整理していました。うまくまとまらなくても、それが諦めない原動力につながっていた気がします。

時々休んでリフレッシュしつつ、諦めずにチャレンジし続けていれば見えてくるものもあると思います！